



蒲郡文化

No.231

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

「蒲郡市民会館開館50周年を迎えて」



生涯学習課長

市川 貴 光

明けましておめでとうございます。市民皆様には希望に満ちあふれる令和6年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年も年初から「はたちのつどい」(成人式)を実行委員会が中心となって開催し、本課の事業がスタートいたしました。二十歳になられる皆様の魅力や際限のない成長度に期待と、共にまちづくりを担っていただけることを祈念したところです。

さて、私の勤務する生涯学習課について簡単に紹介させていただきます。勤務場所は生命の海科学館内にあり、行政事務職員・学芸員・小中学校長等を歴任された先生・現役理科教諭等の仲間と生命の海科学館運営をはじめとした、文化芸術振興、公民館活動、地域学校協働活動、社会教育審議会、市民憲章、青少年健全育成、市民会館、視聴覚ライブラリー等の社会教育全般事業を小中学校関係者・社会教育団体・市民文化団体等の数多くの皆様と関わり合いながら日々の業務を担っております。

その中で文化芸術の活動発表の中心場所となっているのは蒲郡市民会館です。私の自宅から市内東方面に車で向かうときは何気に赤い橋を通過して博物館、市民会館、水族館前の海沿いの景色を見渡しながら軽快に通っていきませんが、海辺の感じのいい景色に市民会館がうまく調和しています。また、市民会館はオープン当時、結婚式披露宴会場として多くのお客様に利用され、毎年230組もの挙式利用があり、人生節目のセレモニー会館としても感慨深

く記憶されている方もいらっしゃると思います。

そんな市民会館も、昨年の11月3日に開館満50周年を迎えました。節目として開館50周年記念事業を10月7日から9日の3日間にわたって、指定管理運営者ピーアンドピー様と協力して、オープニングセレモニー・「わたしのまちの市民会館」絵画コンクール表彰式をはじめ、「蒲郡ミュージッキング」ミニコンサート・「愛知室内オーケストラメンバー弦楽四重奏」コンサート・「ウクライナの歌姫ナターシャ・グジー」コンサート・「ギョギョッとびっくりおさかなのお話」さかなクン講演会等を開催し、多くの方にご来場いただき、また、お喜びの声も多くいただくことができました。特に絵画コンクールと市民会館50年のあゆみ展示については、市内小学生からの見ていてワクワクする素晴らしい絵画応募作品と市民の方から市民会館竣工当時の記録・心を熱くする「思い出の一品」写真を提供していただき市民参加の記念事業として評価いただけました。関係者一員として感謝申し上げます。今後においても愛し愛される市民会館であり続けることを切に願っております。

最後となりましたが、地域学校協働活動・生涯学習活動・市民文化活動はボランティアの要素が強く、市民皆様の自発的なご協力・ご理解をいただくことで成り立っていることが多くあります。限られた財源の中ではありますが、無いモノねだりではなく、あるモノ探し、より多くの皆様の知恵と力をお借りして進めてまいります。



第48回 県文連美術展 入賞作品

愛知県美術館 令和5年10月24日(火)～10月29日(日) 《蒲都市文協関係》



県議長賞「清冽」 杉浦 才



奨励賞「初冬の湖畔」 田中 草紫



入選「白樺の路」
山田 俊行



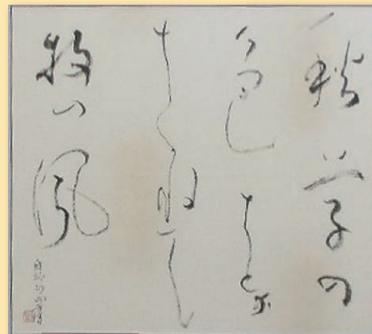
新人賞「大息吹」
日高 一樹



入選「あなたが」
小林 陽子



入選「夕闇の飛騨川橋梁」
牧原 清峰



入選「秋草の色をかさねて牧の風」
近藤 向華



入選「誕生」
内田 明美

学芸員のつぶやき(1)

市制施行70周年

今年は、蒲郡市制施行70年の節目にあたります。「西宝地区で合併、市制を施行」という考えは戦前からありましたが、正式に始動したのは昭和26年からでした。

昭和28年9月来襲の13号台風は大きな被害を及ぼし、復旧対策には隣接町村の協力が必要でした。災害復旧とあわせて町村合併についても話し合わせ、同年10月には、蒲郡町から三谷町以西の町村に対し、5町村合併による市制施行の申し入れがあり、次いで大塚村にも同様に申し入れて、6町村での協議が始まりました。

協議会発足までの間に町村内の事情で参加を見合わせたり、発足後も市庁舎の位置問題で対立が生じたりと紆余曲折の末、昭和29年4月1日、蒲郡町・三谷町・塩津村の3町村が合併し、「蒲郡市」が誕生しました。この「蒲郡」の読み

方については、愛知県公報第3496号で「〈がまごおり〉町は〈かまごおり〉町の誤り」とふりがなを訂正していることから、合併前は〈か〉まごおり町、合併後に〈が〉まごおり市となったことが確認できます。

蒲郡市誕生をうけて、大塚村も合併について再検討し、町村合併研究委員会、住民投票、村議会を経て、昭和30年10月1日に赤根・大草地区は御津町へ、大塚・相楽地区は蒲郡市へ、それぞれ分村合併しました。

その後も西宝地区一体化をめざし、昭和33年11月に蒲郡市から形原町・西浦町に合併申し入れが行われました。形原町は、昭和29年の住民投票では反対多数で協議会を抜けましたが、昭和37年の投票では賛成多数となり、同年4月1日に合併しました。西浦町は、合併時期や条件を協議して議会で合併を決定、翌昭和38年4月1日に合併し、現在の市域となりました。

(博物館学芸員 小田美紀)

●●● 会員ピアザ ●●●

短歌道場参加 於：郡上【古今伝授の里】

9月3日、郡上市で開催された短歌道場に蒲郡短歌部からは選者1名、選手3名、応援3名の7名が参加された。1チーム3名が先鋒、中堅、大将として、相手チームとそれぞれの短歌の優劣を競いますが、自分のチームの作品がいかにより優れているかを主張し合うことも大きな採点要素とあって活発な舌戦が繰り広げられました。



第57回 碩山書院一門展

9月9日～10日に市民会館の東ホールにおいて、一門展が開催されました。幼児から何と100歳までの出品者185人の作品を、親子連れなど514人の方が鑑賞に来場されました。学生の部硬筆では、蒲郡市民憲章が出品展示されました。学生の部表彰式も4年ぶりに行われました。



天生流いけばな展

9月23日(土)・24日(日)
蒲郡市勤労福祉会館大研修室
5年ぶりの開催となった。

全三河書道百選展

豊橋展が9月19日(火)～24日(日)
豊川桜ヶ丘ミュージアムで行われ、文協会員の5名が出品。

観月茶会

10月26日・27日
2日間にわたりホテルで行われた。

市民

開会式典

中ホール

11月3日 10時～



アトラクション

笹野バレエ(右)

Lino Lea Hula(下)



市民茶会 11月5日

参加者
330人

三興庵 表千家
大会議室 裏千家



菊花展賞

愛知県議会議長賞	河井 宏幸
愛知県教育委員会賞	田島 道秋
愛知県文化協会連合会賞	小林 春枝
蒲郡市長賞	羽田喜久司
蒲郡市議会議長賞	小田 安秋
蒲郡市農業協同組合長賞	樋山 利枝
蒲郡商工会議所会頭賞	村松 捷二
蒲郡信用金庫理事賞	竹内 正喜
中日新聞社賞	北部公民館
蒲郡市教育委員会賞	羽田 春雄
蒲郡市教育委員会賞	稲石 アキ
蒲郡市文化協会賞	児玉 守正
蒲郡市文化協会賞	野沢 良雄

短歌会入賞者

愛知県教育委員会賞	太田 文子
温室に働くパートら高齢と	
猛暑を言ひて辞めてゆくなり	
愛知県文化協会連合会賞	林 正夫
手に負えぬ腕白坊主も七十歳	
スイカをさげて「おるかん」と呼ぶ	
蒲郡市長賞	中村 文子
この夏に確かに生れし証なる	
蝉の抜け殻庭木に数ふ	
蒲郡市議会議長賞	加藤美美代
柔らかきけふの日差しにわが裡を	
洗濯物のやうに干したき	
蒲郡市教育委員会賞	伊藤 治輝
わが父は和尚に坊主御上人	
村人たちは御前様と呼ぶ	
蒲郡市教育委員会賞	伊藤 正枝
お父さん声が聞きたいお母さん	
話がしたいよ墓碑字をなぞる	
蒲郡市文化協会賞	小野田初枝
黄の帽子若葉の下をがやがやと	
園児のお散歩力ルガモのよう	
蒲郡市文化協会賞	橋本満寿代
病ゆえ夫は多弁となりたりと	
我はいつしか頷くばかり	
佳作	齋藤とし子 夏目富美子
菅沼 好恵 伊藤 朋子	

文化祭

書道工芸展

東ホール
11月3日～5日

出品点数 書道 122点 工芸 51点 参観者数 691人



工芸は体験コーナーもあり、何人かが楽しく参加していた。

書道は、子供作品が多くあり、家族連れで訪れる人が多かった。



華道展 東ホール 11月18日・19日

出品点数 45点 参観者数 669人

呈茶席は、抹茶ではなく煎茶であったが、美味しかった。



水石展 中会議室

11月18日・19日

出品点数 31点

参観者数 86人



俳句会入賞者【学生の部】

愛知県議会議長賞 周東 羽希
秋の庭かすかに残る日ののにおい
蒲郡市長賞 山本 唯禾
秋夕陽オレンジ色の光道
蒲郡市議会議長賞 松永 叶夢
学校の畑に大きなかりんの実
蒲郡市教育委員会賞 平野 章太
銀杏が落ちて夕日にあたりけり
蒲郡市文化協会賞 山本 紗愛
葉のすきまもれる光は秋夕陽

川柳入賞者【募集句の部】

蒲郡市議会議長賞 来本 芳子
新しい私を捜す好奇心
蒲郡市文化協会賞 堀田 勝男
手に取れば昨日と違う値札付き

俳句 大会議室

11月23日

参加者が少なかったが、久しぶりに当日句会も行う事ができた。
また、学生の募集句も行い、川柳も、今回から募集句を行ったが、投稿が少なかったのが、残念であった。

俳句会入賞者【募集句の部】

愛知県教育委員会賞 小田かず子
茹で上げて土の香ほのと落花生
愛知県文化協会連合会賞 大場 安子
相席に肘のふれあう走り蕎麦
蒲郡市長賞 青山 昭吉
鱚雲ゆるみに気づく靴の紐
蒲郡市議会議長賞 三浦くに代
魚跳ねる水面に揺れる望の月
蒲郡市教育委員会賞 長崎マユミ
数独のこつ得々と生身魂
蒲郡市文化協会賞 市川美智子
新顔の案山子ほめあふ映日和
佳作
千賀 幸子 金田 満子
立岩 宣宏 渡辺 みつ子

俳句入賞者【当日句の部】

蒲郡市長賞 牧野 一古
小春日や抱きし赤子の大きくび
蒲郡市議会議長賞 金田 満子
漁港への古き路地裏花八手
蒲郡市教育委員会賞 西浦 良子
巨大筆に忍と一文字冬に入る
蒲郡市文化協会賞 内田 陽子
秋行くや波音波にやや遅れ
佳作
大場 安子 小野田 初枝
千賀 幸子 山田 登志子

博物館ギャラリー会場

市民

水墨画展 11月3日～5日

出品点数 61点
参観者 405人



体験コーナーは多くの人が来年の干支の辰を描いていた。



絵画展 11月10日～12日

出品点数 40点
参観者 335人

出品者は、少し減ってはいるが質は向上していると思う。作品のテーマもバラエティーに富み楽しく見ることが出来た。



写真展 11月17日～19日

出品点数 55点 参観者 251人



文化財めぐり

どうする家康

ゆかりの静岡を訪ねる

令和5年の文協文化財めぐりは、静岡市の駿府城と浅間神社、及び藤枝の大旅籠「柏屋」を訪ねた。終日曇がちの日であったが、静岡市に近づくと、富士山の冠雪をあちこちで見ることが出来、幸先良いスタートとなった。



まず最初の駿府城は勇壮な天守の城だったが、家康の死後1635年の寛永の火災で大方の建物を焼失する。明治の戦争で本丸の堀は埋められて陸軍歩兵連隊に使われていた時期もあったが、今では東御門、巽櫓、坤櫓が復元されたり、紅葉山公園等市民憩いの空間となっている。現在の発掘調査により、家康が築城した天守台と豊臣政権時代の天守台が同時に見られる事や、今川期の遺構もこの地より発見されたそうだ。石垣や鬼瓦にハート形があるのは、魔除けの印だそうだ。

浅間神社は三つの神社の総称で、修復を終えた楼門は目映いばかりの輝きだった。

義元の人質であった竹千代は、ここで元服式を行った。次に境内の大河ドラマ館を見学する。出演者の衣装の一部やサインが展示されていたり、家康



本人が使ったという采配や復元甲冑等があり、いつまでも見飽きない。家康75年の人生の、三分の一はこの駿府の地で過ごされたと言う事だ。

焼津さかなセンターでの昼食と買物の後に藤枝の大旅籠「柏屋」に立寄る。江戸後期の建物で、厳しい峠越えの後の安息を今に伝える。一階の台所や配膳場、町人の部屋と武士の部屋の違いを見学したり、入口の大戸、部戸の利便性等も知る事が出来た。参勤交代の大名行列は、本陣、脇本陣、下宿等に分宿する。同時期お伊勢参りも盛んとなり、大層賑わった。まるで「水戸黄門」のドラマを彷彿させるようだ。

藤枝岡部インターよりの帰路は夕陽が眩しい位だった。約50名の参加であったが、予定通り無事旅行を楽しむ事が出来た。

文化祭

芸能発表会

11月4日・5日
於：中ホール

1日目は例年通り三谷中の御殿舞に始まり、本年度から文協会員になったリノレアフラの華やかなフラダンスで締め、2日目は笹野バレエの「くるみ割り人形」でフィナーレを迎えました。両日も予定より時間が余りましたが上手に休憩を取りプログラム通りに進められました。



洋楽発表会 11月19日 於：大ホール

昨年より増えて全7団体の参加でした。「蒲郡市民の歌」に始まり、現在NHK連続テレビ小説の「東京ブギウギ」も演奏されました。



箏曲演奏会 11月23日 於：中ホール



朝10時から夕方4時半まで全22曲の演奏でした。しっとりとした曲や踊りだしたくなるような曲など、箏、尺八、三絃の演奏を楽しみました。

月例茶会 三興庵



9月24日 表千家
板倉宗真社中

10月29日 裏千家
鈴木宗和社中



お知らせ

蒲郡市文化協会 文化事業

第一節 トークセッション「ゲスト中西智子(国文学研究資料館准教授)」
第二節 朗読「源氏物語」をより楽しむために
演出・脚色 藤田伸二

「若菜上」「御法」「幻」各帖より

2024.2.18 (日) 13:00開場 14:00開演

蒲郡市民会館大ホール

入場料(全席自由)
前売券 一般1,000円 18歳以下500円
当日券 一般1,500円 18歳以下700円
※前売券発売の場合は当日券もありません

チケット取り扱い
蒲郡市文化協会事務局 0533-68-5509 (月・水・木 9:30-16:30)
蒲郡市民会館窓口 0533-67-5151 (火曜日定休 9:00-17:00)
主催 蒲郡市文化協会 共催 蒲郡市教育委員会

第12回 文化事業

2月18日(日)

市民会館大ホール

開場13:00 開演14:00

《チケット発売中》

前売券 1,000円 (18歳以下500円)
当日券 1,500円 (18歳以下700円)

未就学児入場不可。
文協事務局又は市民会館窓口にて

今回も、芸能発表会、洋楽発表会、箏曲発表会とビデオ撮りを行いました。ホームページ、YouTubeで見られるようになりますので、ぜひご覧ください。

*林正夫氏による、ふるさと文化財の話は、20回を以て一区切りとしました。新しく、今回から「学芸員のつぶやき」として、博物館に連載をしていただく事になりました。

図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706)	
企画展「プリンスってこんな人」	1月14日(日)～1月28日(日)
切り絵展	2月 1日(木)～2月12日(月・祝)
大人のためのきゅんとするブックトーク(恋愛編)	2月 3日(土)
「名鉄西浦駅待合所 がまごおり公共建築学生チャレンジコンペ2023展」	2月14日(水)～2月25日(日)
ねこのおはなし会	2月18日(日)
春の特別展 「おはなしおばさんのかわいい仲間たち展」	3月 1日(金)～3月31日(日)
博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)	
昔の遊びコーナー	1月 6日(土)～1月28日(日)
企画展 「館蔵絵画展」	1月20日(土)～3月24日(日)
蒲郡っ子作品展	1月26日(金)～1月28日(日)
ミニ展示「ひなまつり」	2月 3日(土)～3月 3日(日)
プラモデル展	2月17日(土)～2月18日(日)
写真集団「雲」作品展	2月28日(水)～3月 3日(日)
なつかしの昭和まんがコーナー	3月 9日(土)～3月31日(日)
コーナー展示 「市制70周年記念 ひろめる・しらせる・広報からみた蒲郡」	3月30日(土)～7月 7日(日)
市民会館の催し物 (問合せ TEL68-5509)	
第56回いけばな花月展	2月24日(土)・25日(日)
月例茶会	2月25日(日)
月例茶会	3月10日(日)
五葉会書道展	3月29日(金)～3月31日(日)